

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

調査実施日 令和7年4月17日（木） ※中学校理科は、4月14日（月）～4月17日（木）

調査対象 小学6年生（94人） 中学3年生（103人）

調査の内容 ① 児童生徒…教科に関する調査：国語、算数・数学、理科、質問紙調査
② 学校…質問紙調査

教科に関する調査の結果

小学校第6学年 ※ 数値は平均正答率(%)

	国語	算数	理科
城里町	66	52	53
茨城県	67	57	59
全国	66.8	58	57.1



【おもな成果】

- ・国語では、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかを見る問題がよくできていました。
- ・算数では、平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかを見る問題がよくできていました。
- ・理科では、結果や問題に対するまとめを基に、他の条件での結果を予想して、表現することができるかどうかを見る問題がよくできていました。

【おもな課題】

- ・国語では、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに課題があります。
- ・算数では、数直線上に示された数を分数で書くことに課題があります。
- ・理科では、問題に対するまとめを導きだす際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現することに課題があります。

中学校第3学年 ※ 国語・数学の数値は平均正答率(%)、理科は平均IRTスコア

	国語	数学	理科
城里町	52	45	477
茨城県	55	50	508
全国	54.3	48.3	503



IRTスコアの説明
(文部科学省HP)

【おもな成果】

- ・国語では、文章全体と部分との関連に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかを見る問題がよくできていました。
- ・数学では、必ず起こる事柄の確率について理解しているかどうかを見る問題がよくできていました。
- ・理科では、呼吸を行う水中の生物について答える問題がよくできていました。

【おもな課題】

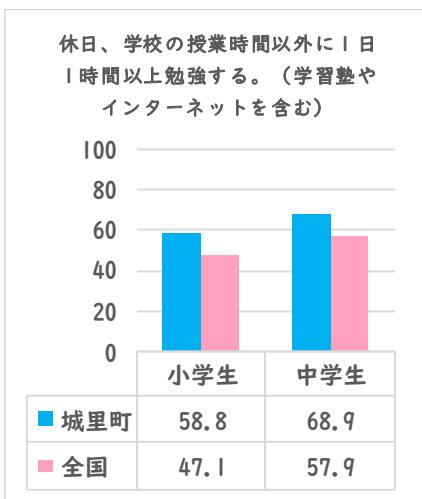
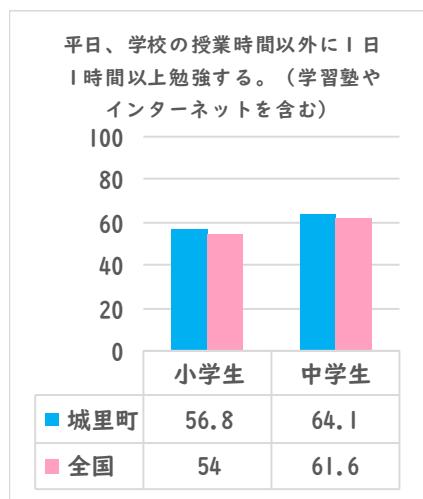
- ・国語では、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題があります。
- ・数学では、数量を文字を用いた式で表すことに課題があります。
- ・理科では、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能に課題があります。



城里町教育委員会

生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査の結果

※ 数値は割合(%)



昨年度に引き続き、毎日朝食を食べている小学生の割合は全国平均と同程度で、多くの小学生が朝食を食べる習慣があることがわかります。一方、中学生の割合は、昨年度比5%減少し、全国平均と比べても低い状況です。家庭学習の習慣化については、平日や休日に学校の授業時間以外に1時間以上勉強する児童生徒の割合は、全国平均より高いです。特に、休日の家庭学習の取組が、小学生・中学生ともに全国平均を約10%上回っており、家庭学習の習慣化がされている児童生徒が多くいることがわかります。



昨年度同様に、友達と話し合う活動を通して、互いのよさを認めたり、自分の考えを深めたりすることができます。小学生は、授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりしようとする意識が高いことがわかります。学習したことが将来どのように役立つかを想像し、社会とのつながりを意識することで、学習に対する意欲も変わってきます。

保護者の皆様へ

生活習慣や学習習慣に関する設問に肯定的な回答をした児童生徒は、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります。生活習慣や学習習慣の安定は、学力向上につながっています。

